

課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）  
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

学術研究の変容とミスコンダクトについての人文学・社会科学研究

研究テーマ名

責任ある研究・イノベーションのための組織と社会

責任機関

国立大学法人大阪大学

研究実施期間

平成26年10月～平成29年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
<b>研究代表者兼グループリーダー</b> (イノベーショングループ)	
吉澤 剛	大阪大学・大学院医学系研究科・准教授
<b>分担者</b>	
平川 秀幸	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター・教授
山内 保典	大阪大学・全学教育推進機構・講師
標葉 隆馬	総合研究大学院大学・先導科学研究科・助教
川本 思心	北海道大学・理学系研究院・准教授
<b>グループリーダー</b> (研究活動グループ)	
中村 征樹	大阪大学・全学教育研究推進機構／文学研究科・准教授
<b>分担者</b>	
東島 仁	信州大学・医学部・助教
秋谷 直矩	京都大学・物質-細胞統合システム拠点・特定研究員

**配分（予定）額**

（単位：円）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
2,500,000	3,450,000	3,200,000	2,250,000

※平成27年度・平成28年度・29年度については予定額

**研究目的の概要**

学術研究のあり方は産学連携などイノベーションの推進とともに大きく変容しており、研究不正問題もそのような学術研究の変容と切り離せない。そこで本研究では、第一に、責任あるイノベーションの基盤となる「信頼性の高い知識を生み出す学術研究のあり方」として、学術研究の信頼性をいかに確保するのかについて、研究不正問題の実態や要因を明らかにするとともに、近年の学術研究の変容を見据えたうえで、責任ある研究活動を推進するための方策について検討する。第二に、「イノベーションの創出のための研究組織の革新」として、責任ある研究活動を推進してイノベーションを生み出す研究組織のあり方や、その基盤となる学術研究の推進方策を議論する。

**研究計画の概要**

「信頼性の高い知識を生み出す学術研究のあり方」については、研究者やその共同体内部に着目し、責任ある研究活動と、学術研究の変容をあつかう。「イノベーションの創出のための研究組織の革新」については、研究者共同体を社会における研究組織という観点でとらえ、日本の大学・公的研究機関、学協会、資金配分機関それぞれに対し、責任ある研究活動のための組織のあり方と、組織革新に向けた学習、社会との対話・連携という観点から議論を展開する。